



# The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



## 神戸東ロータリークラブ会報 No.386 2017-2018 No3

表紙絵：太原 震也元会員



会 長／吉井 正幸 副会長／山崎 仁嗣 幹 事／梅田 稔  
広報委員長／白田 勉 副委員長／小谷 哲也  
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日

**クラブ会長方針 「明るく・楽しく・みんなで奉仕！」**

I serve it together brightly and happily!



ロータリー：  
変化をもたらす

RI President

Ian H.S. Riseley  
2017-2018年度国際ロータリー会長





2017-2018 年度神戸東ロータリークラブ

第 64 代会長 吉井 正幸

2017-2018 年度神戸東ロータリークラブ第 64 代会長を退任するにあたりご挨拶を申し上げます。

「明るく・楽しく・みんなで奉仕！（I serve it together brightly and happily !）」

と会長方針を決めさせて頂き、1 年間クラブ運営をして参りました。

ロータリークラブの創始者ポール・ハリスは、ロータリークラブは「千人いれば千通りのロータリークラブがある」と言っております。そこで、名門である神戸東ロータリークラブの歴史と奉仕の伝統を、独自色であると考えみんなで参加してロータリー活動をしようと考えました。

110 名を超える会員数の当クラブでは、担当委員会だけで奉仕事業を行う傾向があると以前より感じていましたので全員参加型のロータリー活動にしたという思いがありました。お陰様で活発な奉仕活動が出来たように思われます。

よく言われる、会長職は「短い 1 週間・長い 1 年間」を実感した 1 年でした。

先達者の先輩が築き上げた「伝統と格調の高さ」を継承するというプレッシャーは相当にありましたが、その「伝統と格調の高さ」を指針として助けら

れたことも多々ありました。

全ての理事会前に「三役会」と称して山崎副会長・梅田幹事に、お忙しい中、お集まり頂いていました。山崎副会長には俯瞰的にクラブ状況を見て頂き、貴重なアドバイス、そして精神的支柱としての役割もして頂きました。梅田幹事には全ての情報を一元管理して頂き、扇の要として細部まで気を使い完璧なクラブ運営をして頂きました。20 回近く開催した「三役会」ではいつも明るく楽しく力を貰っていました。本当に素晴らしい副会長と幹事に恵まれたと感謝しております。

紙面の関係で一部の事柄しか記すことは出来ませんが、

- 横山幹夫 S. A. A には例会を取り仕切って頂き、長期計画委員長として細則改正案を理事会に提案して頂きました。直前会長としてのアドバイスも頂いていました。
- 吉田健美会計理事には一番大切な財政面を見て頂き理事会でも貴重なご意見を頂きました。
- 角田出席委員長にはクラブ協議会で相談役的に高所・大局的にご意見を頂きました。
- 山本裕計親睦委員長には例会時のスムーズな受付、会員親睦会で「相愛・I serve」と会長方針を「書」で表すパフォーマンスを企画して頂きました。親睦会では細部にわたる心遣いをして頂きました。DD プリンセス楽しかったです。
- 吉田茂家族委員長には楽しい京都日帰り旅行を企画して頂き、真冬と一緒に現地まで下見をさせて頂きました。宝ジェンヌ・アカペラ QT ハニーも楽しかったです。
- 福原プログラム委員長には、会員卓話と多彩な外部スピーカーとバランスよく企画して頂きました。
- 吉田博週報委員長には毎週、的確に例会の出来事その他を掲載して頂き、「週報 3000 号」の

記念号も作成して頂きました。

- 藤本会員増強委員長には、今年度の最も大切な課題であった「会員の純増」を達成して頂きました。
- 須藤会員選考・職業分類委員長には、新会員候補者の職場まで行き面接をして頂き、その結果を詳細文書で提出するという本来の会員選考を復活して頂きました。
- 乙守公共イメージ委員長には楽しいラウンドテーブルでの勉強会開催して頂きました、また理事会メンバーとしていつも貴重なご意見を頂きました。
- 白田広報委員長には、私の似顔絵を作成して表紙にのせて頂き読みやすい会報誌を作成して頂きました。
- 上村伸幸 R 財団委員長には、理事メンバーとして正しい方向性を最後には示して頂き、嫌われ役の財団寄付募集もお願いしました。
- 三戸岡奉仕プロジェクト委員長には職業奉仕委員長として、ヤクルトの工場職場訪問を企画して頂きバスの中での説明も分かりやすく有意義でした。
- 鈴木社会奉仕委員長には、福祉支援施設ボレロの店舗改装事業をして頂き地区補助金事業として認定を受け、就労支援に多大に貢献して頂きました。
- 田中義明国際奉仕委員長には、長年の課題の姉妹クラブの調査研究をして頂き、一歩前進ができました。
- 宮 米山記念奨学委員長には米山奨学金の会員への周知をして頂き、順調に寄付金集めもして頂きました。
- 四方青少年奉仕委員長には、王子動物園での奉仕事業で、大勢の会員参加を達成して頂き当日もスムーズな活動の仕切りをして頂きました。

ここに上げたのはほんの一部一例で、全会員の皆様に各委員長の指揮のもと、本当に多くの事業・行事、ロータリー活動をして頂きました。紙面をお借りして御礼を申し上げます！

また特筆すべきことは、7年ぶりに野田ガバナー補佐を輩出し、中井 IM 実行委員長の元、原点回帰の素晴らしい IM が開催出来ました。この件に関しても野田ガバナー補佐、中井 IM 実行委員長はじめ会員の皆様に御礼を申し上げます。

また、昨年度締結した友好クラブ三クラブ、京都東 RC・大阪東 RC との「三東会」の第 1 回目を当クラブの担当で開催をしました。他府県ロータリアンとの交流でロータリーライフの幅が大きくなったと実感しています。

年初の会長方針でも記していましたが、神戸東ロータリークラブの会員の皆様にはロータリーに対してそれぞれの関わり方があります。このように当年度も各々の関わり方を実践して感動を共有して頂いたように思います。

今年度、会長としての一歩の目標は職業奉仕の精神 (Vocational Service) を神戸東クラブの根幹とすること、それから新会員の増強でした。

細則改正で職業奉仕の精神を神戸東風に文言を追加して頂きました。会員も純増をして頂きました。目標を達成できたのも会員の皆様の暖かいロータリアンの友情の賜物だと思っています。

最後になりましたが、毎例会を美しい歌声で始めている西村先生、そして事務全般をお願いしている橘さん、横田さん、大変お世話になりました。

前年度の横山年度からの良い流れを引継ぎ、一歩でも前進するように努めてきました、次年度澤田年度に良い風を送っていたら幸いです。

神戸東ロータリークラブの益々の発展を祈念しまして、退任の挨拶とさせていただきます。



副 会 長 山 崎 仁 嗣  
クラブ奉仕委員長

会員の皆様 この1年間、本当にお世話になり有難うございました。心より感謝申し上げますとともに、今年度末を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年、副会長の大役を仰せつかり、何とか無事1年が過ぎようとしておりますが、この1年もまた、会長、幹事をはじめ多くの会員の皆様に支えていただいた1年でした。

平成18年1月の初釜例会の日に横山幹夫会員、野々村禎之会員のご推薦で、この伝統と格式ある神戸東ロータリークラブに入会させていただき、はや12年半が過ぎました。

この間、平成23年～24年には塚本会長を補佐する幹事の大役を仰せつかり、今年度は副会長として、吉井会長、梅田幹事に、時には足手まといにもなりながら、サイドから精一杯のお手伝いをさせていただきました。

また、従来の「クラブ奉仕委員会」から衣替えした「クラブ管理運営委員会」委員長として数多くのクラブの行事に参加して、委員会相互の連携や運営について、多くの会員の皆様とともに活動し、楽しいクラブライフを過ごさせていただきました。

当クラブには、年度始めから年度末まで1年を通じて45～47回の例会の受付その他の業務を担当する親睦委員会から、中長期の視点からクラブの今後について考え、助言を行う長期計画委員会まで多種多様な16の委員会があり、そのうち5つの委員会のお手伝いをさせていただきました。そうして多くの行事、多くの委員会に参加させていただくことで、今まで見えなかったことや、わからなかったことに出会い、自分自身を成長させていただいた1年ともなりました。

これからも当クラブのメンバーとしてより一層努力致しますので、皆様にも今までと変わらぬ、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本当に有難うございました。





幹事 梅田 稔  
理事

神戸東ロータリークラブ会員の皆様、一年間ありがとうございました。無事46回の例会を終える事ができましたのも会員の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。色々といたらぬ点も多々あったかと思いますが、その都度、色々な方々にご支援、ご協力を賜り何とか幹事業務を務める事ができました。皆様のご厚情に改めて感謝申し上げます。

また、就任時にも申しましたが、本当にやりがいのある仕事をさせて頂いたと吉井会長に感謝申し上げます。本当に大変な仕事であったと思いますがそれ以上に価値のある経験をさせて頂き充実した一年であったと思います。特に、当該年度はIMの開催、第1グループガバナー補佐輩出クラブとしての業務、第1回三東会など通常の年度では経験できない事業もあり勉強になりました。

振り返りますと、初めて副幹事として理事会に出席したのが2016年1月12日。それから、2018年6月末までの約2年半にわたり副幹事、幹事と執行部に在籍させて頂きました。最初は気の遠くなるような思いでしたが、今から思えばあっという間の2年半でした。そんな中で、多くの方々にお世話になりました。会員の皆様はもとより各委員長の皆様、役員の皆様、そして事務局の皆様、むつみ会の皆様に

も大変お世話になりました。本当にありがとうございました。特に事務局の皆様にはクラブ運営において多大なご協力を頂きました。改めて事務局の重要性を認識した次第です。

最後になりますが、64年の歴史と110名を超える会員数を誇るクラブを維持運営していくためには人的にも、金銭的にも、時間的にもそれなりの負担を余儀なくされます。しかし、大きな負担も多くの会員の皆様と分かち合えば小さな負担に変わります。また、できるだけ多くの皆さんが参加する事によって感動を分かち合う事ができ大きな価値に変わります。吉井会長の「明るく、楽しく、みんなで奉仕」の中には、例会を含む1つ1つの事業に一人でも多くの会員の皆さんに参加して頂き感動を共有し親睦を生み出す事がクラブの繁栄に繋がるという想いが込められていると思います。今後もその想いが途切れる事なく神戸東ロータリークラブの活動に繋がっていきます事を、そして、次年度が素晴らしい一年になります事を祈念いたしまして退任のご挨拶に代えさせて頂きます。一年間本当にありがとうございました。





# 105 名のご出席で華やかに第 64 回創立記念例会を開催



平成 30 年 4 月 10 日 火曜日 ホテルオークラ神戸で  
12:30 より開催されました。

105 名の会員及び家族の皆様が出席していただき、  
例会そして懇親会を開始致しました。

むつみ会とコーラス同好会の歌で始まり、金婚、

銀婚のお祝い、また、出席委員会より、在籍 50 年のお祝い、皆出席のお祝いをしました。続いて元宝ジェンヌの美苑えりかさんのショーを楽しみ名残惜しくも閉会となりました。

(家族委員長 吉田 茂)





## 「春の京都『都をどり』と 京料理を愉しむ旅」を堪能しました



平成30年4月15日日曜日に於いて「春の京都『都をどり』と京料理を愉しむ旅」を開催しました。39名のロータリーメンバーと家族で宮川町の歌舞練場に15時45分に現地集合し、都をどりを観賞しました。日本古来のきらびやかな伝統文化に酔いしれ、頭の中で笛と太鼓と三味線の音が残ったまま料理旅館「鶴清」で懇親会を開始。京料理を楽しみながら

舞子さんに地方さんが登場し艶やかな踊りを堪能しました。関本会員のお子さんも小さいながらも日本文化と京の雅に圧倒された様子でした。お座敷遊びの「とら、とら、とらとら」を女性の方々に体験していただき好評のうちに閉会しました。

(家族委員長 吉田 茂)







## 第1回三東会を神戸東 RC がホストクラブとして開催

### —神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて—



5月18日（金）神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて京都東 RC、大阪東 RC、神戸東 RC から 38 名のメンバーにご参加頂き第1回三東会を開催致しました。窓から見える夕刻の神戸港をバックに国際ロータリー第2660地区片山ガバナーの乾杯で賑々しく始まった宴は終始和やかなムー

ドの中、美味しい食事とアカペラグループ Queen's Tears Honey の美しいハーモニーを満喫し、親睦を深めたのち3クラブの友好関係の永続的な発展と次回京都での再会を確認し盛会のうちに閉会致しました。

（幹事 梅田 稔）





## 250 人の参加で青陽東養護学校招待ボウリング大会を開催



平成 30 年 2 月 19 日（月）神戸六甲ボウリング場におきまして神戸市立青陽東養護学校招待ボウリング大会を開催いたしました。

194 名の生徒さんと、随行の先生方、神戸東ロータリークラブのメンバー合わせて、約 250 人が参加しました。

あちこちで楽しい歓声が行き交い、充実した時間

を過ごすことができました。

校長先生にもこの会がきっかけとなり、障がい者のボウリング大会に選手として選ばれた生徒がいるなどいろいろ教えていただきました。

この会の意味をしみじみ考えながら、次年度もこのボウリング大会が継続されることを心から祈念しています。  
(社会奉仕委員長 鈴木 祐一)

## 2017-18年度 神戸東ロータリークラブ 第2回 ラウンドテーブル会



2018年5月22日今年度第2回目のラウンドテーブル会を、西村屋「和味旬彩」で開催いたしました。今回は、複数の会議を1回のラウンドテーブル会で行う2部制で執り行いました。

### 第1部

#### ①新しい補助金システムについて

ロータリーの誕生から現在までの歴史と、最近の地区補助金やグローバル補助金等についての説明  
ロータリー情報委員会 副委員長 中井 章詞

#### ②カンボジアプロジェクトについて

次年度（創立65周年）から始まるようとしているカンボジアプロジェクトについて、我がクラブが取り組もうとしている説明

次年度国際奉仕委員会 副委員長 後藤 章暢  
大型スクリーンを使用した講演形式の勉強会

### 第2部 変化し続けるロータリークラブ

『国際ロータリーは、どこへ行こうとしているのか』

『また、日本のロータリーはどこに行くのか』

『そして、我がロータリークラブはどうするのか』

これらの問題を『会員資格』『女性会員』そして『出

来るだけ多くの会員が各会合や事業等に参加するには』という課題でディスカッションしていただいた。

#### 『会員資格』

最近、職業奉仕や入会資格について様々な事が問われているが、我がクラブでは会員資格上やはり『職業人または専門職およびこれらに従事した者』に至った。

#### 『女性会員』

我がクラブでは年々女性会員の入会に賛同する人が多くなってきたが、やはりまだ様々な課題も残されている。また、入会していただく時は複数以上が良いのでは、という意見も出た。

#### 『出来るだけ多くの会員が各会合や事業等に参加するには』

推薦者や紹介者が新入会員と一緒に参加したり、また新入会員に出来るだけ各会合等の参加を義務づける、等の話が出た。

今回のディスカッションが、我がロータリークラブの在り方の参考になることを期待して、第2回ラウンドテーブル会を終了しました。

(ロータリー情報委員長 乙守 典厚)



樋口 敦仁  
—樋口測量事務所—

皆さま、こんにちは。

昨年の9月に、入会をさせていただきました、樋口敦仁と申します。

入会をさせていただいたきっかけは、とあるご縁で、当クラブの上村修司さんにお食事に誘っていただくようになりました。

その席に、上村さんのお知り合いであった、梅田幹事や藤本委員長といった、当クラブの会員の方もおられました。特に、入会などに関するお話があるわけでもなくて、楽しく、お食事をご一緒させていただいていたのですが、ある日、上村さんから、『そろそろどうや?』と、お声がけをいただきました。

そうそうたる、会員の皆さまが所属されており、格式ある当クラブですので、正直、少しビビったのですが、お断りをする勇気もなく、入会をさせていただくこととなりました。

わたくしは、長田区で測量会社を営んでおります、土地家屋調査士でございます。

昭和50年7月16日生まれの42歳、かに座のB型でございます。出身は、淡路島の洲本市でございますが、2歳ごろから長田の方に移りまして、遠方に出ることもなく、現在に至っております。

学歴などは、ご紹介するほどのものではなく、ごくごく、平凡に公立の学校で、小学校から高校まで、神戸で過ごしてまいりまして、小学校から高校まで、これまた、平凡に野球部に所属しておりました。

お恥ずかしなからですが、昨年の末に2度目の入籍をさせていただきました。この春に当クラブ会員の菅野さんのところで、拳手を挙げる予定にしております。色々とお無理を申しているところでございますが、一応、新婚ということでございます。

家族構成ですが、私が、父子家庭でございましたので、現在は、妻と息子の3人でございます。21歳になる息子は、芦屋のパン屋さんに就職し、向こうで、下宿をしております。現在は、実家のごく近所に、妻と二人で居住をしております。

趣味と呼べるには至りませんが、一向に上達しない、ゴルフを10年ほどしております。また、おとし辺りから、友人に誘われ、釣りに行くようになりました。虫や小魚といった生き餌をさわるのが、苦手にして、ハマチやメジロといった青物のジギング、餌木を使ったイカ釣りなど、ルアーフィッシングをメインに楽しんでおります。

自分が釣って帰った魚をさばいたりしているうちに、調理をしたりすることにも、興味が出てまいりまして、共働きということもありますが、最近は、料理にも楽しみを覚え、練習しているところでございます。

多趣味な皆さまがおられるとお聞きをしておりますので、機会がございましたら、色々とお教授いただければと思いますので、今後ともよろしく願っています。



光葉 應宏  
—ゴンチャロフ製菓—

この度、1月に入会させて頂きました光葉應宏と申します。本日は貴重な例会の時間を頂きありがとうございます。

私は昭和42年11月9日に神戸市民病院（現ANAクラウンプラザホテル）で生まれ現在半世紀が経ちました。

現在血糖値と尿酸値が高く職業のせいにしてますが、お米が大好きでお酒は飲めません。飲むと眠気との戦いです。

家族は2005年5月に結婚、2010年7月に女の子を授かり幸せな日々を過ごさせて頂いております。

趣味はゴルフ、釣り、洗車、庭いじりですが最近ではゴルフ肘が痛み悩んでおります。

先ず、私と神戸東ロータリークラブとの出会いです。小学校時代にはよく鼻炎になり何度も阪急六甲の執行先生に治療して頂き大変お世話になりました。

それから小学校時代に釣りにハマり、三輪吉郎先輩と父親がゴルフに行く車に乗り込み広野、小野GCの池で鮎釣りをしておりました。中学校時代にはポートピア81博覧会、ユニバーシアード神戸大会の入場券をロータリアンの方に頂戴して楽しく行かせて頂きました。社会人になり盛和塾に推薦頂き、入塾後にお世話になりました塚本先輩、西原先輩、則岡先輩、特に西原先輩には特にサッカーのドイツ

ワールドカップの時にお世話になり、生前父がすごく楽しみにしていた事が印象に残っております。

それから父が人生で初めてゴルフで骨折して入院した時には野田先輩に入院の際にお世話になりました。会社では20年近く監査役をお請け頂いた大辻先生や商標の裁判では角田先生、福原先輩には菓子職人を紹介頂き、不動産ではUBLの田中先輩にお世話になっております。

さて私は幼少の頃から六甲で育ち、中学校までは普通の学生でしたが、高校受験に失敗し私立の男子校に入って人生の回り道が始まりました。その悪行は語りつくせませんが、今となっては両親に感謝しております。

そんな状態でしたので卒業後また浪人してようやく青山学院大学経済学部に入學しました。大学では楽しい思い出ばかりでしたが、社会人になり伊藤忠フーズ株式会社に入社後、厳しい現実には直面する事になりました。

フードサービス部という部署に配属頂き、鶏肉を担当して原料（正肉等）の在庫管理と配送手配、加工品の得意先や新規取引先への提案営業の仕事で、残業と休日出勤の毎日でした。

仕事にも慣れ得意先新規開拓も出来始めた頃、父親と話す機会があり「無形から有形を創る」、「人の気持ちを豊かにする」という言葉で製菓の道に進むことになりました。しかしいきなり会社の戦力になれる訳も無いので知人の紹介で東京の石神井公園の菓子店「お菓子の家ノア」にて丁稚奉公をさせて頂き、初めは洗い物、生クリームたて、カスタード炊きから始めさせて頂き、ケーキ補助、アイスクリーム、焼場仕込、焼場、ケーキ仕上、チョコレート仕込、チョコレートまで任せていただき、約三年間でお菓子の基礎だけでしたが、習得した後、現在のゴンチャロフ製菓に入社後、製造、企画営業職を経て、パティスリー事業部を立ち上げた後2010年7月代表取締役役に就任致しました。それからもうすぐ8年が経ちますが今も試行錯誤の日々です。

生前の父が、楽しそうに通わせて頂きました神戸東ロータリークラブの繁栄に少しでも貢献出来ませう様、精進して参ります。



和田 新  
— トラスト社会保険労務士法人 —

皆さんこんにちは。2月に入会させて頂きました和田と申します。伝統ある神戸東ロータリークラブに入会させて頂き、また、本日はこのような機会を与えてくださりありがとうございます。

私は1975年昭和50年3月13日に神戸市東灘区で生まれました。現在43歳です。

家族は、妻と二人で暮らしており、子供はいません。神戸市中央区に住んでおります。

神戸市で生まれてから、一度京都に引っ越したのですが、1981年にポートアイランドに引っ越してきました。当時ポートピア81、ポートピア博覧会が行われた年でした。私はその時、小学校1年生でした。いわゆる1期生として、入学しました。その後港島小学校を卒業し、港島中学校に入学。この9年間をポートアイランドで過ごしました。

その後、大阪にある関西創価高校に進学。大学は、八王子にある創価大学に進学しました。

安田火災海上保険株式会社、今の損害保険ジャパン株式会社に入社しました。自動車保険、火災保険などの損害保険の営業です。その時に松本氏と出会い、松本氏が経営する保険代理店に転職をしました。しばらくは保険の営業マンとしてお世話になっておりました。

入社して2年くらいたったところに、社会保険労務士

業としての仕事を手伝うことになりました。社長の松本氏は、社会保険労務士の資格を持っており、社会保険労務士事務所も経営をしていました。知り合いの税理士から、顧問先が困っているので助けてほしいとの連絡がありました。労働基準法、割増賃金、是正勧告書など聞いたこともない言葉ばかりでしたが、対応せざるを得ない状況になり、必死で勉強しました。顧問先の総務部長と知恵を絞りながら、対応し、無事に完了することが出来ました。

この時の経験、対応力を買われ、それ以来社労士としての仕事するようになりました。

実務に対応しながら、勉強を重ね、労働保険、社会保険はもちろんのこと、給与計算、年末調整など、次々と知識を習得していきました。

その後も順調に社労士としての信頼を勝ち取りながら、トラスト労務管理事務所として出発した事務所も、法人化し、トラスト社会保険労務士法人として事業をしております。

平成28年9月に松本と代表が変わることとなり、代表社員に就任いたしました。

翌年、平成29年6月末に現在の栄町通1丁目、大丸の西南の位置に事務所を移転しました。従業員を6名を抱える事務所に成長させていただきました。また、2014年に神戸JCに入会、翌年卒業。社会保険労務士会神戸東支部監事、兵庫県社会保険労務士政治連盟監事をしております。

また、ポートアイランドの出身であることは先ほど述べた通りですが、出身の地域に貢献できればという思いで、ポートアイランドに回転寿司の「みなと寿司」を11月にオープンさせました。99円のみなと寿司として営業しております。

今後の目標として、師匠から、「日本一に。世界的に。」という言葉頂き、今は、労働問題に日本一強い社労士に、グローバル社会で活躍する企業の人たちに適切なアドバイスができる社労士になることを目標として、仕事をしております。これからも頑張ってお参ります。



## 第23回 全日本ロータリークラブ親睦合唱祭

— 2018年6月2日 ハーモニーホールふくいにて —



今年度のコーラス同好会は、平成30年6月2日に福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい大ホールで福井南ロータリークラブの主催で開催された第23回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭に於いて日頃の練習の成果を発揮するべく、西村先生のご指導の下、例会前後やむつみ会コーラスメンバーとの合同練習会で1年間コーラスの練習を続けてまいりました。

平成29年6月17日にびわ湖ホールでびわ湖八幡ロータリークラブ主催で開催された第22回親睦合唱祭の翌週から「花の名」「花は咲く」の練習に取り組み、12月の忘年家族例会で披露させていただきました。

今年1月からは「花の名」「冬が来る前に」の2曲に曲目を変更して練習に取り組み、4月の創立記念例会で披露の後、6月の本番を迎えることになりました。

今回はテノールのパートのメンバーとして、また同好会幹事としていつもコーラス同好会を支えていただいた榊原会員が逝去され、急遽、同好会の運営

に不慣れなメンバーが力を合わせて運営をカバーし、いつも通り「本番には強い」コーラス同好会メンバーの本領を発揮し、予想以上の出来栄で、無事、今年の親睦合唱祭で歌い終えることが出来ました。

同好会メンバーは合唱祭の翌週から、平成31年5月25日に郡山南ロータリークラブ主催で福島県郡山市民センター大ホールにて開催される第24回親睦合唱祭に向け、早速練習をスタートしておりますので、今年度もコーラス同好会に対する応援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、いつも合唱団を支えていただいているコーラス同好会応援団の皆様にご心より感謝申し上げます、コーラス同好会報告と致します。有難うございました。

(世話人 山崎 仁嗣)



## 今年度を締めくくる第2回会員親睦会を和やかに開催しました



6月12日夜、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、今年度第2回目の会員親睦会を開催しました。会員・事務局・米山記念奨学生の合計65名にご参加いただき盛会となったことを感謝いたします。アトラクションでは、アイドルグループ「DDプリンセス」に歌とダンスのパフォーマンスを披露していただきました。DDプリンセスは、大阪のドラッグストア「ダイコクドラッグ」の店員が中心となって結成したアイドルグループで、昼も夜も笑顔で働く姿は、ロータリークラブの職業奉仕に

も通じるものを感じます。会員からのリクエストにも応えていただき、楽しんでいただけたと思います。メリケンパークオリエンタルホテルの美味しい料理と、今井会員セレクトのワインをいただき、終始和やかな親睦会となりました。新入会員もご挨拶をさせていただき、会員同士の親睦が深まりました。

吉井会長年度の思い出を振り返り、また野田ガバナー補佐の活躍に対して、労をねぎらいあえたと思います。

(親睦委員長 山本 裕計)





▲ 2月6日「民事調停のすすめ」  
神戸中央法律事務所客員弁護士 三浦 潤 氏



▲ 3月20日「音楽の花束 ～春からの贈り物～」  
飯田美奈子氏（神戸西 RC）ソプラノ 金子浩三氏（ピアノ）



▲ 2月20日「神戸日華実業協会 100周年に思うこと」  
神戸日華実業協会 会長 植村 武雄 氏



▲ 3月27日「兵庫津 日本遺産認定を目指して」  
よみがえる兵庫津連絡協議会 会長 高田 誠司 氏



▲ 2月27日「午後のクラシック」  
杉木紗由理氏（ピアノ）小野さつき（フルート）



▲ 4月3日「魅惑のカクテル」  
ル・パトウ オーナーバーテンダー 小野 玲香 氏



▲ 3月13日「青少年交換長期派遣について」  
地区青少年奉仕委員会  
青少年交換小委員長 白井 務子 氏



▲ 4月17日「座って出来るリフレッシュヨガ」  
講師 田中 亜実 氏



▲ 4月24日「川劇（変臉）」  
演者 江 玉 氏



▲ 6月5日「6.5 神戸大空襲とまちづくり」  
神戸まちづくり研究所主任委員 辻 信一 氏



▲ 5月8日「RYLA セミナーとRYLA 学友会について」  
第2680地区 RYLA 学友会 幹事 田中 恵美 氏  
副会長 下野 博康 氏



▲ 6月12日「明日はわが身・認知症予防」  
南 田 佐智恵 氏



▲ 5月15日「経済の行方と将来の日本」  
笹倉会計事務所 笹倉 宣也 氏



▲ 5月22日「結び、包む。」  
(株)万祥堂 遠藤 綱一 氏



余韻会 (俳句同好会)

平成三十年二月二十二日

於 西村屋 花みかげ

春一番春夏秋冬始まり

奥田 好子

植木鉢並べ直して春一番

執行 執艸

風止んで白梅一輪咲きにけり

角田 伯堂

梅の香や小唄を運ぶ先斗町

則岡 弘士

老令に白梅の香のうすれけり

塚本 宗哲

古民家と競ひて古し梅古木

壺井 仙岳

解体のはじまるビルに春一番

松谷 泰山

春一番若い店主の店開き

吉井 聖倅

曖昧な祖母の手を引き梅詣もついで

関本 剛紀

春一番待ちて飛び出す子等の影

松原 氣宏

並木道春一番に躍らされ

池西 清栄

闇に聞く春一番の騒ぎぶり

村野 離翔

余韻会 (俳句同好会)

平成三十年三月二十二日

於 西村屋 花みかげ

飯蛸の個性となつて茹で上がる

奥田 好子

春めいて教会の鐘軽やかに

白羽 子誠

春雨に濡れてみやうと思ふ宵

角田 伯堂

縁側の陽だまりに春顔を出す

則岡 弘士

風強しガラス戸内は春うらら

塚本 宗哲

春泥が背中飾りしユニホーム

壺井 仙岳

春の泥付けて着任若先生

吉井 聖倅

飯蛸の朱色引き立つ皿の藍

関本 剛紀

飯蛸を柔らかくするコツ掴む

松原 氣宏

引き潮に飯蛸遊ぶ日差しかな

池西 清栄

旅終へて帰る子ども等春の泥

橘 恵子

早春の野に新しき靴履きて

村野 離翔

余韻会（俳句同好会）

平成三十年四月十九日

於 西村屋 花みかげ

早起きの三日坊主に風光る

奥田 好子

桜餅味より先に葉の香り

執行 執艸

桜餅葉っぱもろとも頬ばりて

白羽 子誠

真新な電動自転車風光る

角田 伯堂

新調の学生服や風光る

則岡 弘士

夜勤明け卓に置かれし桜餅

壺井 仙岳

はにかみて学生服に風光る

早馬 政宏

桜餅ほほ笑み色に染まりをり

松原 氣宏

雨あとの樹々洗はれて風光る

橘 恵子

手をつなぎ集団登校風光る

村野 離翔

初恋や電車待つ君風光る

飯田 美音

余韻会（俳句同好会）

平成三十年五月十七日

於 西村屋 花みかげ

夏めくや青空行きの観覧車

奥田 好子

掘り出してみて旬の重さかな

執行 執艸

ビル谷間並木の風も夏めいて

角田 伯堂

庭隅にとろけるやうな柿若葉

則岡 弘士

夏霞車窓にかかり見えぬ富士

塚本 宗哲

反射光窓に若葉の影を描き

壺井 仙岳

陽の力風が含んで夏めける

吉井 聖哲

夏めくや黄色い声が木霊する

松原 氣宏

竹の子やここよと合図土もたげ

池西 清栄

残りたる田一枚の田植かな

橘 恵子

不揃ひの母のそら豆やはらかく

村野 離翔



絵と文 太原 晃一

「ニセコから見た羊蹄山」

北海道ニセコは標高 1308m の日本でも有数の広大なスノーエリアとして有名です。  
 その魅力の理由は雪質の良さで世界的に有名なふわふわのスノーパウダーです。  
 又スキー場の規模からしてたくさんの宿泊施設も充実しています。  
 多くの外国人のスキーマーも訪れています。

CONTENTS

三役退任挨拶.....	1
第 64 回創立記念例会 .....	5
日帰り家族旅行.....	7
第 1 回三東会 .....	9
青陽東養護学校招待ボウリング大会.....	11
第 2 回ラウンドテーブル会 .....	12
新会員自己紹介.....	13
第 23 回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭 .....	16
第 2 回会員親睦会 .....	17
例会スナック.....	19
余韻会.....	21

編集後記

吉井年度、最後の広報誌第 3 号です。  
 昨年 7 月から、あっという間に 1 年が過ぎました。  
 色々な事がありましたが、一番印象に残ったのが、6 月 18 日に起きた大阪の地震です。阪神・淡路大震災ほどではありませんでしたが、ブロック塀倒壊により、小学生が亡くなるという悼ましい事故が起きました。宮城県では、以前の地震でブロック塀が倒れ、多くの方が犠牲になりました。  
 それ以来、地震の時はブロック塀には近づくな！と小学生に教え込んでいます。その情報が、大阪の小学校には伝わっていませんでした。  
 広報の重要性を、改めて実感しました。

広報委員長 白田 勉